

令和4年度近事研学校事務セミナー報告

『子どもと教職員のウェルビーイングを高める働き方改革』

講師 愛媛大学大学院教育学研究科(教育実践高度化専攻)教授 露口 健司 様



素敵な笑顔で軽快にお話しされる露口先生

令和5年1月30日、Zoomにて学校事務セミナーを開催しました。講師に愛媛大学大学院教育学研究科(教育実践高度化専攻)教授 露口 健司 様をお招きして、『子どもと教職員のウェルビーイングを高める働き方改革』の演題でご講演いただきました。

今回の学校事務セミナーは講師、役員も含めて参加者全員がリモートで行うという初めての試みでした。滋賀県野洲市からは、サテライト会場を準備して参加していただきました。主催者としても、参加者としても研修の在り方を広げるセミナーとなりました。

前半は子どものウェルビーイングについて、子どもたちの幸福感には、保護者・地域・教職員などの大人や友だちなど周りの人たちとの繋がりや信頼関係が大きく影響しており、その幸福感が学ぶ意欲と心の健康に連動していることをお話しされました。また、地域の大人が地域の子どもたちを「我らの子ども」として認知しなくなることが地域崩壊に繋がることや、保護者の子どもたちのための学校参加は教育効果を高める上で重要な要因で、保護者自身の成長にも寄与するなど、地域連携のヒントにもなるお話をしていただきました。

後半は、時間外勤務時間、ワーク・エンゲージメント、主観的幸福感、抑うつ傾向、同僚との信頼関係について教職員を対象に調査されたデータを基に、教職員のウェルビーイングについてお話いただきました。働き方改革を、時短という視点だけでなく、ワーク・エンゲージメントなどの視点と合わせて見ることで、時間外勤務時間を減らすことだけをゴールにすることの危うさが浮き彫りになっていました。「子どものウェルビーイング」という時短の先のゴールを保護者・地域に見える化する必要性があり、働き方改革の名のもとに保護者・地域との信頼関係を切り刻むことは学校の将来=子どもの学ぶ環境にとって決してよい方向につながらない、教職員の働きがいやよろこびがある職場づくりからこの課題を見直す提案をいただきました。肌感覚としてあった、早く退勤できればよいということではないことが、調査結果として目に見える形となって現れていました。また、教職自体が問題なのではなく、どのような学校で働くかで教職員のウェルビーイングに違いが出てくることや、学校を支える自治体と学校を管理する自治体で教職員の幸福感が変わってくることをお話いただきました。

教職員の働きやすさと働きがいは、子どもとの信頼関係、保護者との信頼関係、同僚・管理職との信頼関係がベースになっています。働き方改革という名のもとで、学校の存立基盤となっている信頼を切り刻んでいませんか。私たち事務職員も働きがいを創っていくうちのひとりだという当事者意識を持ちながら、日々の仕事に取り組みたいと感じました。

<文責 恒次 郁香>



令和4年度 各単位研究会活動紹介

滋賀県公立小中学校事務研究協議会

今年度も滋事研では「学びを止めない!」をモットーに会員研修や研究活動を進めています。新型コロナウイルス感染防止を念頭に入れながら、オンラインと参集形式を使い分けて各種研修会や研究大会を実施しました。

11月にオンラインで開催した第51回滋事研研究大会では、参加者には各市町研究会単位で設置した複数のサテライト会場で大会(全体会・分科会)を視聴、会員相互の交流と対話による研修を深めていただきました。カリキュラム・マネジメントや共同実施、人材育成について討議を行い、それぞれの課題や私たち学校事務職員のあるべき姿について「気づき」と「可能性」を広げることができたと思います。

また、令和5年度には近事研研究大会滋賀大会、令和7年度には全事研滋賀大会の開催が予定されており、ホスト研究会として「オール滋賀」で大会成功に向けた取組を進めて参ります。近事研各単位研究会の皆さまにもお世話になりますが、どうぞよろしくお願いいたします。



京都市立学校事務研究会

京都市立学校事務研究会では令和3年度より、教育委員会と連携して「学校事務標準化プロジェクト」の研究を行っています。

学校事務標準化プロジェクトは、学校間や事務職員により業務のかかわり方に差異があることや、異なる事務職員の担当業務を把握し、全市的な学校事務の標準化・効率化を行うことを前提に、全市的な標準的事務職員の在り方を研究・実践していくプロジェクトです。プロジェクトリーダーと4チーム(文書事務、就学援助事務、校内事務の標準化、校務支援員との連携)のリーダーを中心に、それぞれのチームのモデル校の教職員の協力を得ながら、2年間の研究に取り組んできました。その成果については、令和4年12月16日(金)に開催いたしました事務研究大会(オンライン)にて全会員に報告し、教育委員会への提言を行いました。

また、支部ごとの支部研修会(隔月開催)では、各校の課題や取組の成果を共有したり、学校における働き方改革の推進やGIGAスクール構想への事務職員の効果的な取組を協議するなど、これからの学校事務職員が目指していくべき姿を探究しています。



大阪府公立学校事務研究会

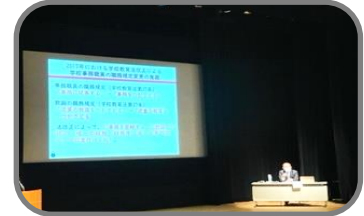
第31回大阪府公立学校事務研究大会

2022年(令和4年)11月18日、クレオ大阪東において、第31回大阪府公立学校事務研究大会を開催しました。今回、新型コロナウイルス感染対策を考慮し、集合とオンラインLIVE配信のハイブリッド形式で実施しました。

①記念講演

文部科学省 国立教育政策研究所 初等中等教育研究部長

教育データサイエンスセンター 副センター長 藤原 文雄 様 を講師にお招きし、「個人と社会の幸せ(ウェルビーイング)の実現に向けた学校事務職員の貢献と成長～人材育成指標、バーチャル共同学校事務室を活用した人材育成のススメ～」と題し、ご講演いただきました。



②地区別報告 三島地区合同プロジェクト

「これからの学校事務を考える」～各事務研究団体からの発信～

所属校での業務改善等の事例をはじめ、共同実施での事務連携、研究会での活動報告、そして教育委員会と学校事務職員との連携体制等について、各市町で特色ある取り組みをご報告いただきました。



研究部事業

昨年度に引き続き、「共同実施の機能について」を研究テーマとして、アンケートの分析を行っています。アンケート分析の最終報告に向けて研究を進めるとともに、大阪の学校事務のグランドデザインにおける共同実施の在り方について、検討していきたいと考えています。

研修部事業

経験年数別の研修講座、ニーズや今日的課題に即した内容の研修講座を実施し、体系的研修制度の研究を行っています。ステップアップ研修講座は、新型コロナウイルス感染対策を考慮し十分に配慮したうえでの実施や、第80回研修講座については、初のオンラインLIVE配信での研修講座を実施しました。

神戸市立小学校事務研究会

神戸市では、令和4年度より相互支援体制が全市で実施されることになりました。これまで研究会で行ってきた取組の一部は相互支援体制のグループ活動で行えるようになり、研究会の存在意義や活動目的を問い直す必要が出てきました。

そこで今年度は通常の活動は少し縮小し、新しい研究会活動の在り方を考えることにしました。事務職員の資質向上につながる活動が継続して行えるよう、中学校事務職員会、特別支援学校事務職員会と3校種連絡会を持ち、共に活動できる体制について検討しています。

研修については、6月に教育委員会の情報推進係から講師を招き、GIGAスクールへ事務職員がどう関わっていくかを学びました。また、令和2年度から研究大会に代えて開催している合同研修会を1月27日(金)に開催し、「持続可能な未来につなぐ学校づくり」をテーマとした講演会と令和5年度からの新組織について現在検討している内容の説明を行いました。

その他の活動として、フォルダーラベル作成ソフトの改訂、校長会との懇談会を行っています。

奈良県公立小中学校事務研究会

令和4年度 研究主題「これからの学校経営を担う学校事務の探求」

重点目標

- 1、ランドデザイン「すまいる奈良2」で示している「ささえる」「つなぐ」「ひらく」の3つの視点から探る「求められるリーダーシップ」と「マネジメント力」
- 2、魅力ある研究会であるための持続可能な組織開発と組織活動の活性化
- 3、支部活動の充実と地域の特性を活かした研究の継続

第48回 奈良県公立小中学校事務研究大会

大会テーマ 「拓こう!明日の教育を担う学校事務を」

サブテーマ ~できることからやってみよう!次世代へつなげる学校事務~

期 日 令和5年1月16日 オンライン開催(Google Meet利用)

テ ー マ 「ささえる・つなぐ・ひらく」でやるシカ  ない!!」~まずは、できることからやってみよう!!~

担 当 県事研 研究部

助 言 者 国立大学法人 大阪教育大学 准教授 田中真秀 氏

奈良県教育委員会事務局 教職員課 課 長 東村耕作 氏

研修会

○第1回学校事務研修会(参集開催)

期日 令和4年7月1日

演題 「SDGs4質の高い教育をみんなに」

講師 奈良教育大学 教授 中澤静男 氏

○第2回研修会(オンライン開催)

期日 令和4年12月8日

第1講座 「公立教育機関(小中学校)における事務職員のメンタルヘルス」

講師 臨床心理士・公認心理師 濱家 敦子 氏

第2講座 「奈良県の共同学校事務室と学校事務職員」

講師 桜井市立学校共同学校事務室室長 前口 依久子 氏

大淀町立学校共同学校事務室室長 茂見 邦子 氏

新規採用(任用)事務職員フォローアップ事業

期日 令和4年7月19日 情報交換会 開催

新規採用1~2年目:オンライン会議

実務指導担当者:参集会議

県校長会・教頭会・事務研究会合同会議

期日 令和5年1月31日 参集会議



近畿地区公立小中学校事務研究大会のお知らせ



令和5年度 近事研研究大会 滋賀大会

アップデート近事研！
笑顔輝く令和の学校事務を考える

令和5年（2023年）8月18日（金）

滋賀県大津市（会場：ピアザ淡海）にて
現地とオンラインでのハイブリッド形式で開催します。

いつでも・どこでも・だれとでも・自分らしく

笑顔で学べる研究大会となるように、実行委員会で、鋭意準備中です。

皆さまの多数のご参加をお待ちしております。

続報は、近事研ホームページ等にも更新する予定です。

近畿公立小中学校事務職員研究会

URL：<http://www.kinjiken.jp/>

R5夏 近畿公立小中学校事務職員研究会 研究大会 滋賀大会

パネルディスカッション アップデート近事研！ 笑顔輝く令和の学校事務を考える

ベストミックス+ハイブリッド
(効果×効率×現地×オンライン)
→ 令和の学びの形を創造する



- 観点 仮 ・ 「令和の日本型学校教育」をどのように推進していくか
 仮 ・ GIGAスクール構想、カリキュラム・マネジメントにおける事務職員の役割
 仮 ・ 今だからこそ、問う あなたにとっての「学ぶ」とは？ 等

・トータルコーディネーター
近事研 本部役員
近事研 研究大会実行委員等

- パネルディスカッションの全体進行を行う



・Webコーディネーター
近事研 本部役員
近事研 研究大会実行委員等

- 現地参加者・サテライト会場参加者のGoogle formsでの意見等の集約、やりとり、紹介等を行う

・フロアコーディネーター
近事研 本部役員
近事研 研究大会実行委員等

- 現地参加者の意見等の集約、やりとり、紹介等を行う



・パネリスト

- 観点などに基づいて、それぞれの立場から意見交換とディスカッションを行う



候補

- ・ 教育長
- ・ 校長
- ・ 行政職員

※一部、オンラインパネリストも加えることも検討

- ・ 学識経験者
- ・ 企業関係者
- ・ 学校事務職員 等

・現地参加者、サテライト会場、オンライン参加者
学校事務職員 等

- 意見交換とディスカッションを行う
- 笑顔になって帰り、明日からの実践に繋げる

Google Forms



・オンライン配信ディレクター
近事研 本部役員
近事研 研究大会実行委員等

- 研究大会のオンライン配信の統括を行う



・グラフィックレコーダー
近事研 本部役員
近事研 研究大会実行委員等

- パネルディスカッションの流れ等を整理・可視化し、共有を推進する。

